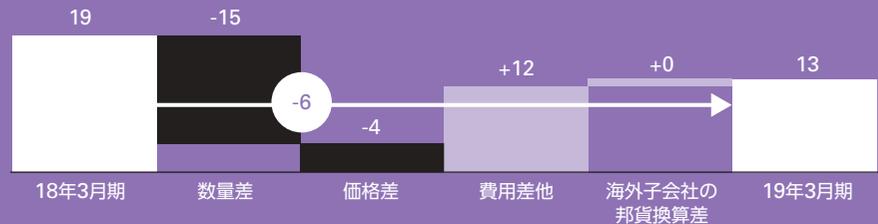


ライフサイエンス

	2017	2018	増減率	2019(見通し)
売上高(億円)	538	537	-0.3%	550
営業利益(億円)	19	13	-33.0%	0
営業利益率	3.6%	2.4%		

営業利益増減(億円)



売上高

537 億円

営業利益

13 億円

営業利益率

2.4%

ROA
(営業利益/総資産)

1.7%

基本方針

- 国内市場シェアの維持・拡大と海外展開の強化・加速
- 選択と集中による効率的な製品開発の推進

収益機会とリスク

- 医療の質向上、医療現場の負担軽減、健康、長寿に貢献する先端素材に対するニーズの高まり
- 日本政府の後発品使用促進策及び継続的な薬価・償還価格引き下げ
- 各国の法規制の動向

中期経営課題“AP-G 2019”達成に向けた事業戦略

■医薬事業

- 経口そう痒症改善薬レミッチ®*の国内シェア維持と海外展開
- 新たなプロセスによる次世代製品創出

■医療機器事業

- 透析機器事業製品の国内外での拡販
- 救急・集中治療及び心・血管領域製品の国内拡販と海外展開加速
- バイオツールの早期事業化

2019年度見通し

- 医薬事業は、経口そう痒症改善薬レミッチ®*が、後発医薬品の影響を受ける見込み
- 医療機器事業は、透析関連製品の拡販を推進するも、価格競争が激化、加えて一部の製品の需要減少が継続する見通し

*レミッチ®は、鳥居薬品(株)の登録商標です

そう痒症改善剤のタイ、インドネシアにおけるライセンス契約締結

東レは、Meiji Seika ファルマ(株) (Meiji)との間で、東レが開発したそう痒症改善剤「TRK-820」口腔内崩壊錠(OD錠)に関する独占的ライセンス契約を締結しました。本契約に基づき、Meijiは、タイ、インドネシアにおいて本製品を独占的に開発・販売する権利を取得し、その対価として東レに対して契約一時金、及び開発の進捗に応じたマイルストーンを支払います。

TRK-820は、「レミッチ[®]*1カプセル 2.5μg」「レミッチ[®]OD錠2.5μg」の販売名で、透析患者、慢性肝疾患患者におけるそう痒症の改善(既存治療で効果不十分な場合に限る)を効能・効果として、日本国内で販売されています。中でもレミッチ[®]OD錠は、水あり・水なし、どちらの服用も可能であることから、高齢者など嚥下機能が低下している患者さんや、水分摂取の制限が必要とされる患者さんの服薬コンプライアンス*2向上につながることを期待されます。

Meijiは、医薬品製造販売拠点としてタイ、インドネシアにそれぞれ連結子会社を有していますが、特にタイは末期腎臓病患者が多く、血液透析医療に対するニーズが高い国の一つです。東レとMeijiは、タイ、インドネシアで、これまで有効な治療法がない透析、慢性肝疾患の患者さんが訴えるかゆみの軽減に大きく貢献できるものと期待しています。

*1 レミッチ[®]は、東レが開発した世界初の選択的オピオイドκ(カプタ)受容体作動薬です。レミッチ[®]は鳥居薬品(株)の登録商標です。

*2 患者が規定通りに薬剤を服用すること。

核酸医薬品「TRK-250」の米国FDAによるオーファンドラッグ指定

東レが特発性肺線維症(IPF)患者を対象とした米国での第I相臨床試験を実施中の核酸医薬品「TRK-250」について、(株)ボナックがFDA(米国食品医薬品局)よりIPFを適応とするオーファンドラッグ(希少疾病用医薬品)の指定を受けました。本指定により、米国で7年間の排他的先発販売権が付与されるほか、臨床研究費用の税額控除、申請費用の一部免除などの優遇措置が受けられます。

IPFは、不可逆的に肺の線維化が進行し、予測できない多様な臨床経過をたどる予後不良の疾患です。そのため、医療現場における治療の選択肢の幅を広げるために、新たな作用機序を有する新薬の開発が求められています。

TRK-250は、肺の線維化に関与する主要な増殖因子であるTGF-β1タンパク質の発現を遺伝子レベルで選択的に阻害することにより、線維化の進行を阻止することを狙いとする核酸医薬品です。また、ボナック独自の核酸医薬技術を採用したユニークな一本鎖長鎖構造を有することで、従来の核酸医薬の課題である体内での安定性を向上させ、さらに、吸入剤として肺に直接投与することにより、標的組織への効率的な送達を期待される、新しいコンセプトの医薬品です。FDAからのオーファンドラッグ指定を受け、東レとボナックは本剤の開発を一層加速させ、2020年代後半の上市を目指します。